

将来の仕事、膨らむ夢

青山中でOBら招き進路学習

岐阜市下土居の青山中学校で、地域の大人らから職業の話聞く進路学習「中学生からのハローワーク」があり、生徒約490人が仕事の内容ややりがいに理解を深めた。
(小森直人)



専門学校教員や演奏家 39人、生徒にエール

勤労観や職業観を培おうと開かれ、11年目。生徒の保護者や同校OB、校区住民を中心にさまざまな職種39人が講師を務め、岐阜新聞・ぎふチャンからも講師が派遣された。航空整備士を養成する中日本航空専門学校の教員田口重信さんは飛行機の飛び仕組みや、管制官など運航関係や整備の仕事について解説。「何をやりたいのかよく考え、夢を実現するための設計図を描いて」と励ました。

同校OBで、保護者でもあるサクソホン奏者野々田万照さんは、自らは演奏を高校時代に始めたことに触れ、「幼いころから英才教育を受けていなくても、努力次第でミュージシャンになれる」と力を込めた。

今回は同校創立40周年記念行事として開催。生徒は県交響楽団の演奏を鑑賞、同楽団の伴奏で校歌も合唱した。

田口重信さん(左)から航空宇宙産業の現状や仕事について聞く生徒。岐阜市下土居、青山中学校